

# 「第2回大淀川水系水防災意識社会再構築協議会」開催

大淀川流域において、市町、県、気象庁、国が連携・協力し、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進することにより、社会全体で常に災害に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として、平成29年6月に設置した「大淀川水系水防災意識社会再構築協議会」の第2回協議会を開催しました。

今回の協議会では、大淀川流域県管理区間の減災に係る取組方針の設定等を行いました。

## 開催概要

日時：平成29年12月18日（月）  
会場：宮崎河川国道事務所  
別館3階会議室

## 協議会の出席者

機関名	所属等	氏名	代理出席
国土交通省 宮崎河川国道事務所	事務所長	鈴木 彰一	
気象庁 宮崎地方気象台	台長	小泉 岳司	
宮崎県 総務部 危機管理局	局長兼危機管理課長	藤田 亨	課長補佐 海野 由憲
県土整備部	河川課長	高橋 秀人	
	砂防課長	米倉 昭充	
宮崎土木事務所	所長	土屋 喜弘	
都城土木事務所	所長	野中 和弘	
小林土木事務所	所長	矢野 透	
高岡土木事務所	所長	米倉 健次	管理担当主幹 佐藤 治
都城市	市長	池田 宜永	副市長 児玉 宏紀
三股町	町長	木佐貫 辰生	
小林市	市長	肥後 正弘	
高原町	町長	高妻 経信	総務課行政係長 江田雅宏
宮崎市	市長	戸数 正	
国富町	町長	中別府 尚文	
綾町	町長	前田 穰	
アドバイザー	宮崎大学名誉教授	杉尾 哲	

## 議事内容

- 平成29年被害状況及びタイムライン・ホットライン活用状況報告
- 水防法改正に伴う規約の改正について
- 大淀川流域県管理区間における減災に向けた取組方針の策定について

## 委員の主な発言

- 住民が迅速かつ安全に避難できるための避難勧告発令タイミング等に苦慮している。（流域市町委員）  
⇒いざというとき避難してくれるよう、消防団員等の防災リーダーは、日常から住民とコミュニケーションをとることが重要。また、行政は画像を活用するなどして、避難についての情報をわかりやすく提供することが必要。（杉尾アドバイザー）
- 養成した防災士をもっと活用してほしい。（流域市町委員）  
⇒各市町村と連携しながら、防災士が地域で活躍していただけるよう取り組んでいきたい。（宮崎県危機管理課）

